



安心安全な通信環境を目指して 通信の不正利用防止

私は現在、特殊詐欺等の防止に関する制度の企画・執行を担当しています。“詐欺対策は他省庁の業務では?”と思う方もいらっしゃるかと思いますが、総務省では、通信事業の振興に限らず、特殊詐欺、誹謗中傷、Cookie規制や通信の秘密をはじめとした利用者情報の保護等、通信の安心安全な利用環境の整備にも取り組んでいます。

近年、特殊詐欺を取り巻く状況は、被害額の急増のみならず、手口の多様化、闇バイト等により犯罪者を生みやすくなるなど課題は複雑化しています。特殊詐欺では、被害者に接触する通信手段の1つとして電話が用いられています。そこで、私の所属する利用環境課では、携帯電話等の契約締結時に本人確認を義務付ける法令を所管しており、犯人と被害者の接点となる電話の不正利用防止に向け、どのような対策が望ましいか、検討しています。

情報通信を使って様々な分野に挑む

総務省は、行政評価、統計、地方自治、情報通信と生活に深く根ざした多岐にわたる業務を担っていますが、特に情報通信は、日常生活はもとより、経済活動とも切り離せないインフラとなっています。だからこそ、「通信」という専門性をもって、国際展開や地域振興、利用者保護といった様々な側面から社会課題と向き合い、どのように便利で快適な社会を作るか、前向きに考え続けられる職場だと思います。また、仕事に悩んだときも上司や先輩も丁寧に話を聞いてくださり、安心して業務に取り組めます。

最初は漠然とした思いで全く問題ありません(私も総務省を目指したきっかけは、よくYouTubeを見ていたからです)。説明会で職員の話を聞いたり、仕事を進める中で、皆さんの興味を惹く仕事が、きっと見つかると思います。幅広い分野に興味がある、専門性を持って仕事をしたい、何となく通信って面白そう、そう思った方は是非総務省にお越しください!

Q 総務省(情報通信分野)を志望した理由は何ですか?

生活を支えるインフラに携わりたかったからです。学生時代、スマートフォンの普及と併せて、多くのインターネットサービスが生活に溶け込み、便利さを実感しました。これらにより実現する便利で快適な生活をより多くの人に届けたいと思い、総務省を志望しました。

Q 10年後はどんな仕事をしてみたいですか?

情報通信分野における制度の企画に携わりたいです。現在も近しい業務を担当していますが、上司へ相談すると自分の視野の狭さを痛感します。今後も総務省内はもちろん、他省庁出向、留学等を通じて知識を身につけ、より多面的な視点を持って、制度整備に当たりたいです。



携帯電話事業者と打合せ

PRIVATE TIME

週末はワイン好きの友人とグルメ巡りをしています。1週間仕事を終えた後に飲むシャンパンは格別です。また、年次休暇もとりやすく、休日と合わせて取得し遠出することもあります。時期を見て山梨のワイナリー巡りをしようと計画中です。





総合通信基盤局電波部移動通信課
新世代移動通信システム推進室システム企画係長

夏越 隆就 NATSUKOSHI TAKAYUKI

平成24年 4月	総務省採用
	情報通信国際戦略局技術政策課
平成25年10月	大臣官房企画課情報システム室
平成27年 8月	放送大学学園放送部技術・運行課
平成29年 7月	総合通信基盤局電波部基幹・衛星移動通信課
平成30年 4月	国際戦略局通信規格課標準推進係長
令和 2年 4月	総合通信基盤局電波部電波政策課電波利用料企画室システム計画係長
令和 3年 7月	国際戦略局宇宙通信政策課国際係長
令和 5年 7月	現職

未来の展望を描き、創る 電波行政って具体的には何するの？

総務省では、社会経済の持続・発展に必要不可欠な電波を有効利用するための様々な政策を実施しています。

私の現在の主な業務内容は、①社会の新たなニーズに応えるための無線通信技術を作り(研究開発)、②その技術を国内導入した際に既存の技術に影響を及ぼさないか調査検討を行い(技術試験事務)、③国内で利用するためのルールを有識者と議論しながら作り(技術基準策定・法令整備)、④そのルールに基づく国民からの無線局免許申請を審査する、といったものです。

実際に日々こなしている事務としては、研究開発等に必要な予算を要求するための資料作成、契約事業者との打合せや経理検査、技術基準を策定するための会議運営や連絡調整、事業者や国民からの相談・問合せ対応などが挙げられます。細々とした作業も多いですが、それら一つ一つが電波の効率的且つ適正な利用に必要なものであり、目的意識と隣り合わせでやりがいを感じる瞬間が多いです。

あなたが未来を創れます！

情報通信は便利で豊かな生活の基盤となる技術であり、これまでになかった新たなビジネスやサービスなど社会の革新的変化(イノベーション)を創出する源泉もあります。我々が行っている「情報通信政策の企画立案」は言い換えば「未来の国民生活・経済活動の青写真を描く」ことです。自分が関わって生まれた技術が数年～数十年後に形となって普及し、人々が社会生活を送るのに不可欠なツール・インフラとして当たり前のように利用される世界へと繋がっていることを実感できるのが、行政に携わる大きな魅力だと思います。

私が現在担当している案件には、5Gの通信可能エリア拡大のための技術、多数のセンサを連携させ高度な通信を行うことで構造物の予知保全を可能とする技術、心拍・呼吸・姿勢等の高精度なセンシング技術などがあります。それらが社会実装され日々の生活に溶け込んでいる未来を自ら創り出すために、今日も張り切って業務と向き合っています。

Q 国家公務員の魅力は何ですか？

未来を創り出す行政の魅力について長々と書かせていただきましたが、それ以外の魅力として、概ね2年周期での人事異動があります。分野を跨いでの業務経験は広範な知見と多角的な視点をもたらしてくれますし、各部署での一期一会も刺激的で楽しいものです。業務内容や人間関係でのマンネリ化とは無縁で、張り合いのある社会人生活を送れること間違いナシです！

Q 実際に働いてみて、 入省前のイメージと違ったことは？

役所というと「執務室で紙を使って仕事！」という印象を抱きがちですが、実際にはデジタル化が進んでおり、多様な働き方に対応しています。テレワークやBYOD(私物端末による業務)に積極的ですし、コミュニケーションツールやWeb会議ツールが充実しているので意思疎通もしやすいです。



係内の業務進捗報告も気軽にオンラインで

PRIVATE TIME

休日は、友人と旅行に行ったり、愛用のクロスバイクでサイクリングしたり、愛猫と遊んだりして過ごしています。愛猫を迎えたのは生後2か月のときで、迎え入れ直後はお世話に気を配る必要があり外出しづらかったので、係内で相談して少し多めにテレワークさせてもらいました。



MESSAGE 放送・情報通信・郵政行政



情報流通常行政局地域通信振課課長補佐

佐藤 浩行 SATO HIROYUKI

平成17年10月	総務省採用 大臣官房秘書課
平成19年 7月	情報流通常行政局総合政策課 (情報通信政策局総合政策課・通信・放送法制企画室併任)
平成20年 7月	情報流通常行政局情報通信政策課
平成21年 7月	情報流通常行政局参事官(通信・放送総合戦略担当)付
平成22年 7月	情報流通常行政局放送政策課 (情報通信国際戦略局情報通信政策課併任) (情報通信国際戦略局参事官(通信・放送総合戦略担当)付併任)
平成23年 7月	情報流通常行政局地上放送課 (情報流通常行政局放送政策課併任)
平成23年10月	情報流通常行政局情報利用促進課主査心得
平成24年 8月	情報流通常行政局情報流通振興課情報セキュリティ対策室主査
平成26年 8月	情報流通常行政局地域通信振興課主査 (情報流通常行政局情報流通振興課併任)
平成28年 7月	情報流通常行政局郵政行政部企画課総括係長
平成30年 4月	気仙沼市震災復興・企画部震災復興・企画課副参事兼任 令和 2年 7月 大臣官房総務課主査
令和 2年 8月	大臣官房総務課国会連絡第二係長
令和 4年 7月	現職

暮らしと仕事をつなぐ、テレワーク 誰もが柔軟な働き方を実現するために

現在、ICTを利用し、時間や場所を効果的に活用して、各自のライフステージや生活スタイルに応じた柔軟な働き方を実現できるツール『テレワーク』の普及促進を担当しています。コロナ禍で多くの企業で導入が進んだテレワークですが、急激な人口減少・少子化が進む中においては、子育てや介護と両立しながら、テレワークによって出社時と変わらず自宅で働けたり、専門的なスキルを持った人をテレワークによって遠隔地から雇用することができます。一層、その社会的な意義が高まっています。感染症対策だけに留まらず、新しい働き方として、広く社会に定着するよう、テレワークを実施することで生じた経営効果や、テレワーク時に生じるコミュニケーション不足の解消方法等について、好取組事例を収集して情報発信したり、テレワークを導入しようとする企業からの相談受付や専門家によるコンサルティング支援などに取り組んでいます。

宮城県気仙沼市への出向について

2018年から2年半、宮城県気仙沼市役所に出向したことは、かけがえのない経験でした。気仙沼市は、東日本大震災で大きな被害を受けた町ですが、その後興から創生への移行期に、市の地方創生事業を統括し、牽引する「創生戦略室長」として、赴任しました。移住・定住促進事業、創業支援事業、ふるさと納税、地域コミュニティの再生等、地域住民・地域企業に根ざした幅広い取組の立上げ・拡大に携わり、現在、地方自治に求められているトップランナー方式での事業推進の実態や、地域内での意思決定や調整の仕組みなど、地方行政の理解を深める貴重な機会となりました。また、どの施策も市民の顔が見える距離感で取組を行ふため、市民への影響を一番に考えて事業を進めるという、魅力が多分にある仕事でした。総務省では、自治体出向も含めて、様々な立場でのキャリアを経験できる可能性があるのも魅力です。

とある一週間

月曜日

課内ミーティングへの参加、翌日の主催イベントの準備を行います。

火曜日

終日、テレワークの普及啓発イベントを運営、取材対応を行います。

水曜日

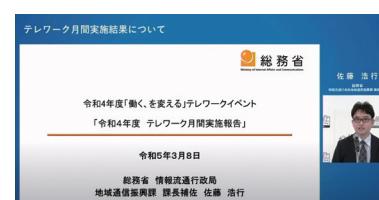
相談事業を担う事業者から、進捗状況や課題の報告を受けます。

木曜日

次年度事業の仕様書などの資料を、自宅でのテレワークで作成します。

金曜日

前日作成した資料を基に、課長や幹部への報告・説明を行います。



普及啓発イベントで説明を行う様子

PRIVATE TIME

もっぱら健康のため、学生時代から続いているテニスをしています。入省して間もないときは、テニスを通じて、様々な先輩と顔見知りになりました。



様々な経験を繋げる



平成29年採用
情報流行政局郵政行政部郵便課
国際企画室国際企画係長

外山 みなみ TOYAMA MINAMI



国際会議の様子@サウジアラビア

インターネットの安全を守る仕事



平成17年採用
サイバーセキュリティ統括官付参事官付主査

岡田 真治 OKADA SHINJI



霞が関セキュリティ競技会で大臣表彰を頂きました

国際郵便のルールを作る

インターネットで買い物をする機会が増え、購入した商品が海外から届いた経験がある方もいるのではないかでしょうか?世界各国に宛てた郵便物が円滑に配送されるよう、万国郵便連合(UPU)という国際機関が共通のルールを定めています。国際企画室では年に数回行われるUPUの会合へ出席し、国際郵便を取り巻く環境の変化に対応した政策等について、192の加盟国と議論を行っています。日本はUPUへの拠出金を通じて海外の郵便ネットワークに対する各種支援も行っており、存在感のある国です。その存在感を生かしてUPUにおける議論を有意義なものにできるよう、日本国内や海外の国際郵便制度などについて日々勉強しています。

自分だけのキャリアを築く

入省してからの7年間で、二国間・多国間の国際会議対応、他省庁での勤務、官邸での会議運営、省内の人事関係事務など多様な業務に携わってきました。特に、5ヶ国へ計6回の出張を含む国際関係の仕事は印象深く、立場の異なる各国の政策や意見から、毎回多くの課題や発見が得られます。これまでに在籍してきた部署は関連性が無いように見えますが、思いがけないところで過去の経験が役立つこともあります。全ての業務経験が無駄にはならず今に繋がっていると感じています。総務省には様々な部署があり、幅広い可能性があるのはもちろん、それぞれ周りの人とは違う自分だけのキャリアを築くことができる大きな魅力だと思います。

IoT機器のセキュリティ対策

皆さんが当たり前に使っているインターネットですが、それを守るために多くの人々の地道な努力があります。セキュリティに関する取り組みもその一つです。

今や身の回りの色々な物がインターネットに接続できる時代になりましたが、生活を便利にする機器がある一方で、攻撃者に乗っ取られ、誰かに迷惑をかけてしまう機器も多くあります。

私が担当しているNOTICEは、そのような攻撃者に悪用されうるIoT機器を調査し、機器の利用者に直接連絡を行い、機器の設定を見直してもらうことを促すことで安全を守る取り組みです。

最近では広報活動の強化を目的として、Webサイトの充実や利用者への意識向上のための広報戦略の策定を進めております。

総務省のICT政策とは

総務省はICT政策を担当していると一口に言われますが、総務省では色々な分野と関わる機会が大変多くあります。

ICT政策は、皆さんの生活を支える基盤の一つであり、今や身の回りの殆どがICTに関係しています。携帯電話やインターネット、テレビといった直接イメージされるもの以外でも、社会インフラとして提供されるサービスの多くはネットワークが支えています。

また、情報通信に関する基盤技術からコンテンツや研究開発まで幅広い分野がありますので、自分が知らないことを積極的に学びたい人、世の中をICTで変えて行きたい人は総務省に興味をもって頂きたいです。